

2016年 (平成28年) 3月7日 月曜日

レアメタル資源
再生技術研究会

講演会を開催

【名古屋】レアメタル資源再生技術研究会(会長＝藤田豊久・東京大学教授)は4日、名古屋市熱田区の名古屋市工業研究所で第11回研究会を開催した。



あいさつする藤田会長
が重要だ」
などと語っ
た。
講演会で
はベトナム
・ホーチミ
ン産業大学
のヴォー教

今回は「これからどうなる(どうする)資源リサイクル」をテーマに各講師が講演し、参加者は熱心に聴講した。冒頭、藤田会長がいさつに立ち「この会が発足した2011年には、レアメタルの価格は高騰していたが、現在は低迷している。価格が安い時はリサイクルが進みにくくなるが、ほうっておけば資源のない日本は再び危機に陥る。持続可能なリサイクルを行うこと

授が「ベトナムにおける産業物処理、リサイクル、環境について」、ストックホルムデンマークの鈴木孝雄会長が「資源リサイクルとしての取組みと将来展望」、経済産業省製造産業局希有金属室の藤井法夫室長が「レアメタルを巡る最近の動きと今後の課題」、新エネルギー・産業技術総合開発機構環境部3Rグループの半沢弘毅主任が「NEDOの資源循環に係る技術開発の方向性について」、産業新聞社中部支社の服部友裕記者が「Eスクラップリサイクル企業の現況 in 台湾―台日資源循環技術交流シンポジウムを通じて―」をテーマに講演を行った。